

# (1) 年生 キャリア教育単元計画

教科	生活科
単元名	かぞくはなかよし
関連する教科	特別活動（学級活動）
単元目標	家庭生活について調べる活動を通して、家族の役割や自分でできることについて考えることができ、家族は互いに支え合っていることに気付き、自分の役割を果たしたり、規則正しく健康に気をつけて生活したりしようとする事ができる。
連携した企業	ダスキン（株）
出前授業の実施内容	○汚れの正体は何か、なぜ掃除をする必要があるのかについての講義。 ○掃除用具の使い方についての実習。ぞうきんの絞り方の実技演習。 ○お手伝いとして家庭でできる掃除についての講義。

## キャリア教育の目標

自己理解力	自己表現力	チャレンジ&チェンジする力
自分の良さに気付く。	自分の思いを相手に伝えることができる。	自分のやりたいことに挑戦している。

## キャリア教育のルーブリック

	自己理解力	自己表現力	チャレンジ&チェンジする力
A	・自分のよいところを具体的な場面で気付いている。	・自分の思いを進んで相手に伝えている。	・自分のやりたいことを探して挑戦している。
B	・自分のよいところに気付いている。	・自分の思いを相手に伝えている。	・自分のやりたいことを決めて挑戦している。
C	・友達のよいところに気付いている。	・自分の思いを持っている。	・自分のやりたいことを見つけている。

## 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分の役割を果たすことで、家族は互いに支え合っていることを理解し、自分でできることや自分の役割に気付いている。 <u>自理</u>	・家庭における自分でできることなどについて考え、取り組んだことを振り返り伝えている。 <u>自表</u>	・家族のために自分でできることに進んで取組み、継続的に自分の役割を果たそうとしている。 <u>子</u>

活 動 計 画		
時	学習活動	キャリア教育の資質・能力向上の視点
1	日常生活を振り返り、家族が笑顔になる時は、どんな時か考える。	
2	家庭生活の中で、誰がどんな仕事や役割をしているか振り返る。	
3 (学級活動)	汚れの正体を知り、なぜ掃除をするのか考える。 掃除用具の正しい使い方を知る。(出前授業：ダスキン(株))	
4	家族を笑顔にするために、自分でできることを考え、挑戦する。	チャレンジ& チェンジする力
5	途中経過を報告し合い、自分がさらにできることや工夫を見つける。	自己理解力 チャレンジ& チェンジする力
6	これまでの活動を振り返り、まとめる。	自己理解力 自己表現力
7	自分の取組について交流し合い、伝え合う。	自己表現力

### ○出前授業での児童の様子

家の中や教室には、どんな汚れがあるか見つけ、どうして掃除をする必要があるのか考えた。そして、写真を見ながら汚れの種類や正体を知るとともに、ホコリをそのままにしておくことどのような影響があるのかについて話を聞き、掃除をしなかったらどうなるか話し合った。その中で、「快適(気持ちよく過ごすため)」「長持ち(物を長持ちさせるため)」「健康(元気に過ごすため)」という3つのキーワードをもとに、掃除をする意味や掃除の大切さをみんなで確かめることができた。

また、掃除用具の使い方について、ホコリを舞い上げないようにおさえはきというホウキのはき方や上手に絞れる「たてしぼり」でのぞうきんの絞り方を分かりやすい言葉と動作で教えていただき、自分がどんな使い方をしていたかに気付くとともに、体験を通して楽しみながら身に付けることができた。

ホコリをたてないよ  
うに「おさえはき」



ぎゅーっと  
「たてしぼり」



### ○単元を終えての成果と課題

- ・ 出前授業で掃除の意義や正しい掃除用具の使い方を教えていただく中で、普段何気なく掃除をしていた児童が掃除の必要性を理解し、掃除に対しての意欲を高めることができた。また、家庭でも取り組めることについて話をさせていただくことで、家庭でできる仕事や手伝いにつなげることができる学習になった。家での手伝いとして、「玄関はき」や「台拭き」「床ふき」などを自分で選び、「おさえはき」や「たてしぼり」を活用して進んでお手伝いに取り組むことができた。
- ・ 単元を通して付けたいキャリア教育の資質・能力を整理した上で取り組んだが、特に課題であった「自己表現力」を高めるためには、どのような学習活動の中で「何をどのように表現できたか。」までしっかりと見取り、評価していくことが大切であると感じた。さらに、継続的に単元の学習と日常の取組での学びを振り返らせることで「自己表現力」を育成していく必要がある。